

# 朝日連峰保全協議会 ニュースレター

発行者：朝日連峰保全協議会

## ■第11回会合の概要について

令和元年5月24日（金）、山形県西村山郡朝日町「朝日町開発センター」にて、朝日連峰保全協議会の第11回会合が開催されました。

会合では、① 平成30年度朝日連峰保全協議会活動報告、② 平成30年度各団体の活動報告及び令和元年度各団体の活動計画、③ 令和元年度朝日連峰保全協議会活動計画、その他の議題について話し合われました。



【会合の様子（渋谷代表の挨拶）】



【会合の様子】

### ①平成30年度朝日連峰保全協議会活動報告

平成30年度の登山道合同保全作業の活動について、事務局より報告が行われました。

また、登山道の現況について、株式会社ニュージェック川端郁子氏より報告いただきました。

### ②平成30年度各団体の活動報告及び令和元年度各団体の活動計画

朝日連峰に関わる山岳団体、関係行政機関等の各団体より持ち寄られた、登山道整備や保全活動等の平成30年度活動結果及び令和元年度活動計画の報告、情報交換が行われました。

### ③令和元年度朝日連峰保全協議会活動計画

令和元年度の合同保全作業は、朝日連峰ゴロビツの水場付近において9月28日（土）に実施することで合意されました。

### ④その他

- ・ 西川町商工観光課より、朝日連峰振興連絡会（朝日町、大江町、西川町）で作成した「縦走朝日連峰」のポスターが配布されました。また、第10回会合で配付された「活動10年の節目を迎えて（アンケートへの協力をお願い）」の結果を、本会合で取り上げるべき旨のご意見がありました。
- ・ 東北地方環境事務所から、組織内の事情により今年は羽黒自然保護官事務所に代わって、東北地方環境事務所（国立公園課）が事務局業務を担う旨の連絡がありました。
- ・ 山形県溪流釣り協議会より、5月中旬に釣客2名が亡くなる事故があったことの報告と、釣客を見かけた際には、川の事故に十分注意するよう注意喚起、声掛けを行ってほしい旨の周知がありました。
- ・ 鶴岡市朝日庁舎より、朝日連峰の避難小屋の協力金の値上げについて問題提起があり、会員間で意見交換しました。

## ■令和元年度朝日連峰保全協議会合同保全作業の報告について

今年度の合同保全作業は令和元年9月28日(土)に朝日連峰ゴロビツの水場下部で実施しました。当会の合同保全作業は12回目(平成20年実証試験を含む)を迎え、ゴロビツの水場では初めての合同保全作業となりました。当該地はブナを主体とした樹林帯で登山道のガリー(降雨や流水によりできた溝)侵食等によって荒廃している箇所です。流水の集中による洗掘や、踏圧等による登山道の荒廃が進んでいることから、倒木を利用し、土砂をためることを意図した土留工、洗掘を防ぐための排水対策等を行いました。

### 【実施スケジュール】

|           |                               |         |
|-----------|-------------------------------|---------|
| ●9月28日(土) | 天候 曇り後雨                       | 参加者 27名 |
| 7:00      | 日暮沢小屋集合(点呼、挨拶、作業資材配分等)        |         |
| 7:30      | 登山開始<br>作業地到着次第、作業開始(途中、休憩昼食) |         |
| 15:00     | 作業ふりかえり、講評                    |         |
| 16:00     | 下山開始                          |         |
| 17:00     | 日暮沢小屋着                        |         |



【開会式の様子】



【荷上げ資材を準備している様子】

### ■作業報告

当日、日暮沢小屋前に集合し、朝日連峰保全協議会澁谷代表からご挨拶をいただき、ヤシ繊維及びヤシ土嚢袋の荷上げ資材を担いで、保全作業実施箇所へ登山を開始しました。

9月28日の作業の概要は以下のとおりです。

- ・今回は樹林帯であることから、主に倒木を利用して、侵食防止及び排水対策を行いました。
- ・ヤシ土嚢袋に堆積した土砂とヤシ繊維を詰めたものを、登山道の段差箇所に設置しました。
- ・洗掘された箇所に倒木、石、ササを組み合わせることで侵食防止対策を実施しました。
- ・排水対策は、倒木を登山道に対して斜めに設置し、土嚢等で補強し、登山道外に流れるようにしました。



【倒木を利用して、排水対策作業中】



【作業ふりかえり】

今回の作業には、9団体、27名の方々の参加がありました。今回の作業では、西川山岳会の皆様に多岐に渡り事前準備にご協力いただき、当日は全体の指揮監督等、子細に渡ってご尽力いただきました。また、宿泊等に際しても、ご配慮いただきありがとうございました。新潟県等の遠方からの参加者もあり、多くの方々にご協力いただきました。

今回使用した資材は山形県村山総合支所環境課及び環境省東北地方環境事務所より提供がありました。作業に関わっていただいた山岳関係者の皆様、地域の皆様に厚く御礼申し上げます。※保全作業に関してはあらかじめ許可をとって実施しております。

## ■令和元年度幹事会の概要について

令和元年12月19日（木）に山形県朝日町「Asahi 自然観」で開催されました幹事会では、令和元年度の活動を振り返り、令和2年度の計画について話し合われました。幹事会の概要をまとめましたのでお知らせいたします。

### 議題1 令和元年度活動報告

合同保全作業、植生復元箇所モニタリング結果が報告がされました。

### 議題2 令和2年度活動計画

令和2年度の活動計画について検討の結果、以下の計画案となりました。この計画案は、第12回会合に諮られます。

| 活動      | 日程              | 場所                  | 内容                    |
|---------|-----------------|---------------------|-----------------------|
| 第12回会合  | 5月19日（火）        | 西川町                 | 令和2年度活動計画等を共有         |
| 合同保全作業  | 9月12日（土）～13日（日） | 狐穴小屋と以東岳の間（H29作業箇所） | 破れた土嚢のメンテナンス等         |
| 保全技術講習会 | 7月11日（土）        | 小国町                 | 合同保全作業の基本について座学を実施予定。 |

また、令和3年度合同保全作業候補地として、朝日山岳会より小朝日岳から鳥原小屋までの区間が提案され、令和2年度中に下見を行うことになりました。

### 議題3 その他

○本協議会のあり方について平成30年度に実施したアンケートについて、「朝日連峰を取り巻く行政機関が連携し、一般登山客の誘客拡大を目標とした対策を実施できる体系を構築すべき」との西川町からの提案が報告されました。この提案に対して、幹事会としては「保全活動の推進を趣旨とした本協議会のもとで、誘客や振興まで扱うのは馴染まない」との意見をまとめました。

○令和元年7月20日に東北森林管理局主催で開催された朝日山地森林生態系保護地域合同巡視で出された、「古寺鉱泉から大朝日岳ルートの一部が過剰整備である」との意見について情報を共有し、意見交換をしました。その結果、過剰整備の心当たりはないとの意見が大勢を占めました。

○環境省の推進している国立公園総合型協議会と先行事例について情報を共有し、意見交換しました。朝日連峰地域においても、保全、利用を含めた様々な課題に対し、総合的に取り組む新たな枠組が必要との意見があがりました。

#### 【発行者】

朝日連峰保全協議会事務局：東北地方環境事務所（増田、澤野）

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町 3-2-23

TEL：022-722-2874 FAX：022-722-2872

#### 【参考ホームページ】

・環境省 磐梯朝日国立公園 各種資料  
（朝日連峰保全協議会の会則やニュースレター等）

<http://www.env.go.jp/park/bandai/data/index.html>

・東北地区アクティブ・レンジャー日記

<http://tohoku.env.go.jp/blog/>